



測定結果を 25,000 検体以上のデータベースと比較

野菜の抗酸化力などの分析受託サービス 〈野菜の健康診断〉

抗酸化力などの分析を受託している(株)メディカル青果物研究所の提供する、野菜や果物などの農産物を対象とした測定受託サービスです。Brix 糖度・ビタミンC 含量・抗酸化力 (DPPH 法による測定)・硝酸イオン含量の4項目を測定し、野菜の持つ付加価値を数値化、25,000 検体以上の測定値を有する野菜のデータベースと比較します。

※果物の測定も承りますが、野菜よりデータベース上のデータ数が少ない傾向があります。
またレモン、グレープフルーツ、オレンジ、アボカドなど、国産品より、輸入品のデータが多い品目があります。



分析報告書例

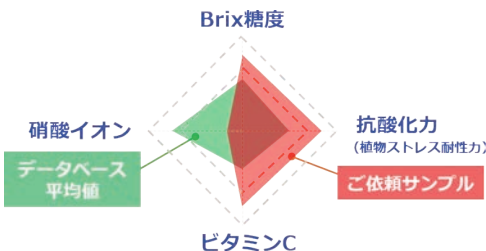
測定項目

光合成の指標

光合成が適切に行われている野菜では、糖分(炭水化物)の蓄積が十分に行われ、糖度が高くなると考えられています。

硝酸イオン含量： 窒素代謝(同化)の指標

硝酸イオンは野菜にとって大切な窒素源ですが、アミノ酸、タンパク質に合成していく過程が妨げられると、植物体内に蓄積します。硝酸イオン濃度の低い野菜は、窒素代謝が上手く出来ている健康な野菜といえます。旬の野菜の値を参考に、窒素代謝がきちんと行われているかどうかを比較します。



窒素代謝(同化)や糖代謝の指標

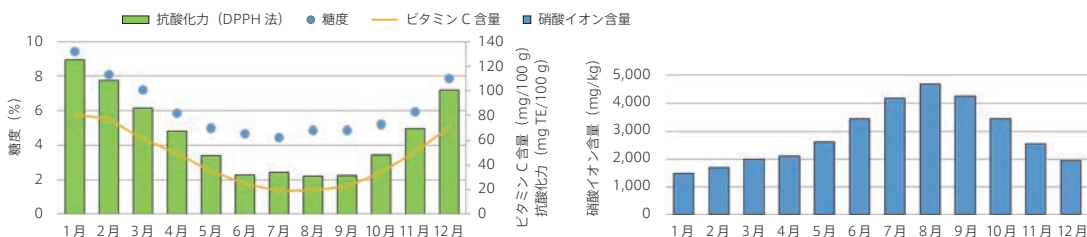
抗酸化物質は、紫外線などによる植物体の酸化ストレスに反応して生成され、植物体を守る働きをしています。これらは植物の2次代謝産物(フィトケミカル)として、1次代謝産物であるアミノ酸や糖(炭水化物)などから合成されます。

糖代謝の指標

野菜は光合成により糖分(炭水化物)を生成します。ビタミンCは糖より合成されることが知られています。

データ例：ハウレンソウ

ハウレンソウ (2008.4~2017.3, n=1121)



ハウレンソウの各月ごとの、抗酸化力、糖度、ビタミンC含量、硝酸イオン含量の測定データ。季節により大きく変動している。

ご注文/納期/価格

ご注文方法/価格/納期は、当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。
[メーカー：MDC]

Web ページ番号

69328



販売店

funakoshi @Funakoshi_CoLtd

フナコシ株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番7号
<https://www.funakoshi.co.jp/> e-mail : info@funakoshi.co.jp
 試薬に関して : Tel.03-5684-1620 Fax.03-5684-1775
 e-mail : reagent@funakoshi.co.jp
 機器に関して : Tel.03-5684-1619 Fax.03-5684-5643
 e-mail : kiki@funakoshi.co.jp

※本紙に記載されている価格は、2020年8月15日現在です。

FUN-6902 (2020.8, No.709)